

第3期雫石町国民健康保険データヘルス計画（概要版）

1. データヘルス計画とは

特定健診の結果やレセプトデータ等の健康・医療データから健康課題を分析し、その課題に対してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保険事業を実施するための計画です。

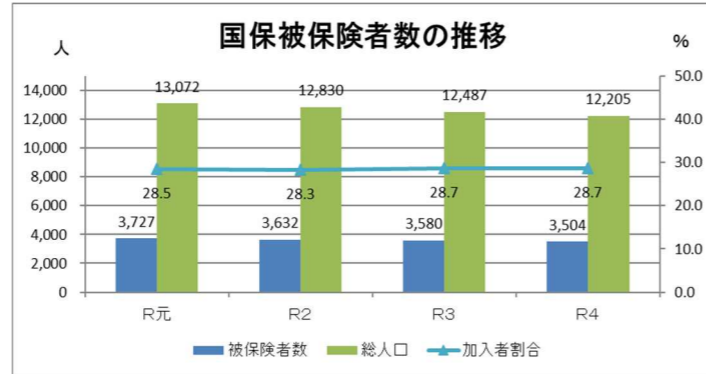
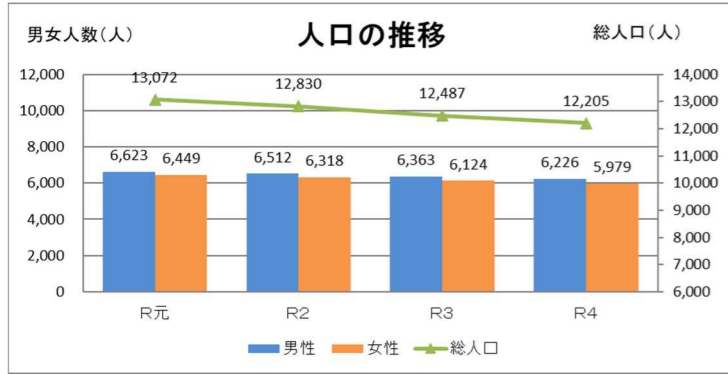
第3期計画は、令和6年度から令和11年度までの6年間です。

データヘルス計画は、特定健診及び特定保健指導の実施計画である国民健康保険特定健康診査等実施計画を計画の一部として位置づけ、一体的に策定します。

2. 雫石町国民健康保険の状況と健康課題

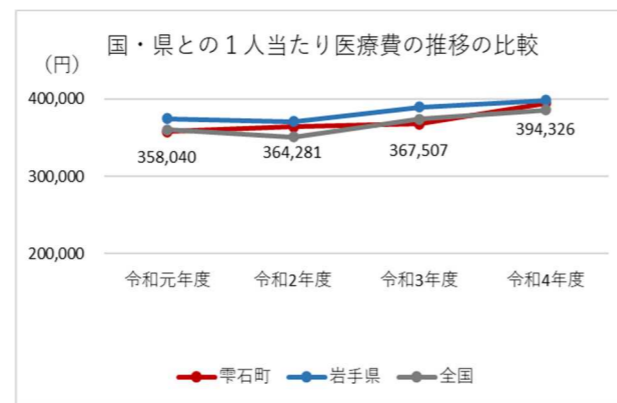
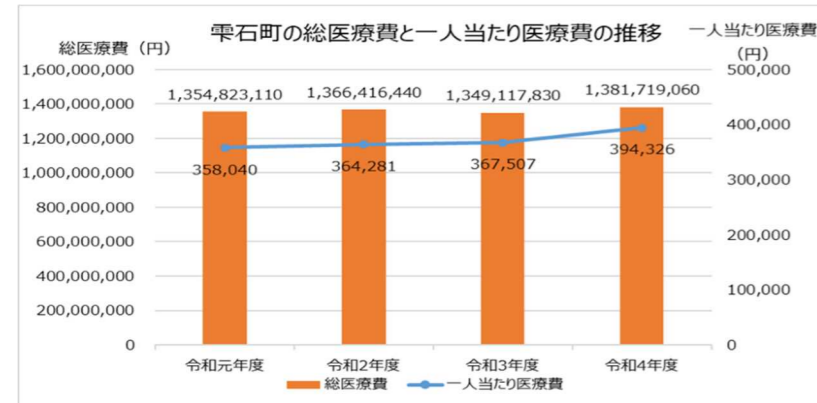
■人口と被保険者の推移

少子化や社会保険の適用拡大、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行に伴い、加入者は減少しています。被保険者数は、令和元年度から4年度までの加入者割合は総人口の3割弱で推移しています。



■医療費の状況

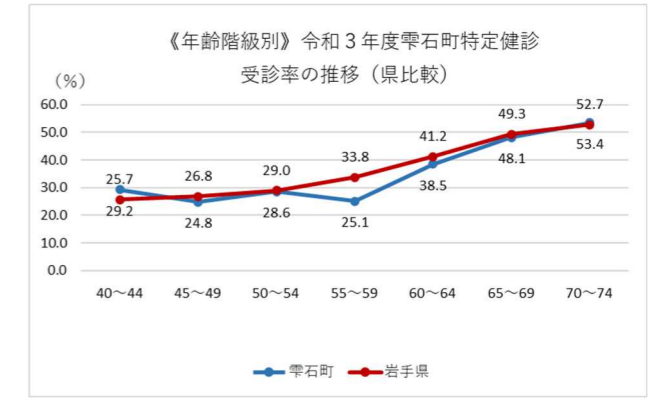
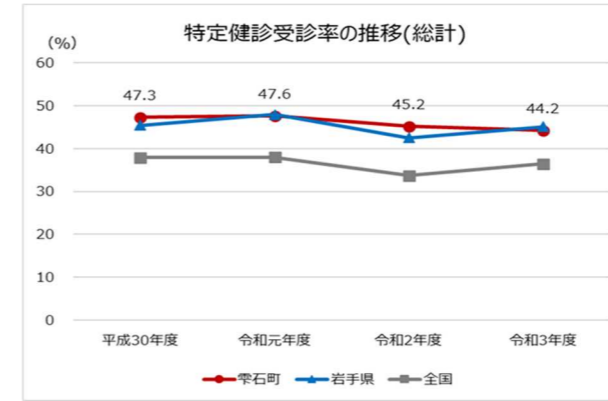
総医療費及び一人当たりの医療費は増加が続いており、一人当たり医療費の国、県との比較では、男女ともにほぼ同水準となっています。外来医療費は糖尿病など生活習慣病が上位となっています。



【外来】医療費	雫石町					
	男性			女性		
	最大医療資源 傷病名	医療費 (点数)	標準化比 vs.国 vs.県	最大医療資源 傷病名	医療費 (点数)	標準化比 vs.国 vs.県
1	糖尿病	4,864,683	1.10 1.03	糖尿病	2,763,914	1.03 0.92
2	慢性腎臓病 (透析あり)	2,695,866	0.77 1.02	関節疾患	2,226,593	0.96 1.17
3	前立腺がん	2,401,066	2.02 1.52	高血圧症	2,039,846	1.00 0.94

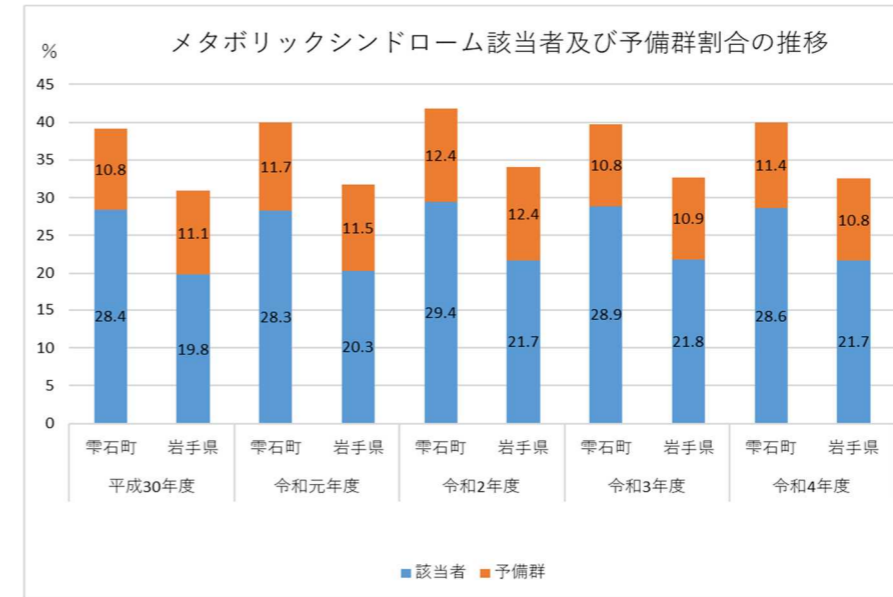
■特定健診受診率の状況

特定健診の受診率は全体として低下しており、令和3年度及び4年度は岩手県平均を下回っています。40歳から59歳の若年被保険者の実施率が低く、令和3年度の実施率と比較すると55歳から59歳が岩手県平均との実施率の差が大きくなっています。



■メタボリックシンドローム該当者の状況

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は、高い水準を維持しており、メタボリックシンドローム該当者の割合は、令和4年度までの10年連続で県内ワースト1位となっています。



■死因となりやすい疾患の状況

平成23年から令和3年までの死因別の推移は、令和3年の全国を基準とした場合、心疾患（高血圧性を除く）が男性は約1.5倍、女性は約2.25倍死亡が起こりやすい疾患となっており、経年比較するとその割合が上がっています。

03301 岩手県 岩手郡雫石町 (男性)

2015年全国基準 (=100)



各年全国基準 (=100)



03301 岩手県 岩手郡雫石町 (女性)

2015年全国基準 (=100)



各年全国基準 (=100)



3. 雫石町の健康課題と対応する保健事業

健康課題
A メタボリックシンドローム該当者割合が大きい B 高血圧有所見者、血糖有所見者の未受診者割合が大きい
対応する保健事業
1 特定健診・特定保健指導実施事業 □事業概要 ○特定健診及び保健指導の効果的な周知 ○KDBデータ分析による受診者の動向把握 ○未受診者に対する効果的な受診勧奨の検討と実施 ○休日等の健診実施
2 生活習慣病重症化予防事業 □事業概要 ○委託による生活習慣病予防教室の開催 ○面接や訪問、電話などによる特定保健指導や医療機関受診勧奨の実施 ○生活習慣病予防教室参加者の継続したフォロー

健康課題
C 外来医療費は糖尿病など生活習慣病が上位、一人当たり医療費は増加傾向
対応する保健事業
3 医療費適正化事業 □事業概要 ○適性受診・服薬啓発パンフレットの送付 ○ジェネリック医薬品利用促進 ○重複・多剤服薬、多剤投与対象者への訪問等による残薬確認、指導等の取組
4 糖尿病性腎症重症化予防事業 □事業概要 ○健診結果による対象者への受診勧奨 ○医療機関と連携した医療機関受診者への保健指導の実施

健康課題
D 若年層及び男性の特定健診受診率が低い
対応する保健事業
5 若年層を対象とした健康啓発と健診等受診勧奨事業 □事業概要 ○40歳前被保険者への健康意識啓発 ○特定健診初年度対象被保険者への特定健診受診動機づけと受診率向上対策 ○40歳前被保険者への健診事業実施の検討

健康課題
E 死因の疾病は心疾患（高血圧症を除く）の割合が増加傾向 F 特定健診質問票における「生活習慣改善意欲なし」の回答率が高い
対応する保健事業
6 健康づくり事業 □事業概要 ○各地区の地域活動団体や関係機関と連携した健康づくり活動の実施 ○庁内各部署で実施する健康づくり事業との連携

4. 評価指標に対する目標値

データヘルス計画では、岩手県が示した共通指標に基づき、以下のとおり目標値を設定します。

評価指標【共通指標】	実績	目標値(%)
	R4年度	R11年度
特定健診受診率	44.8	51.4
特定保健指導実施率	25.8	30.0
メタボリックシンドローム該当者及び予備群割合	40.0	32.5
特定保健指導による特定保健指導対象者減少率	43.8 (R3)	50.0
50歳以上74歳以下の者のうちBMIが20kg/m ² 以下の者の割合	12.5	10.0
血圧が保健指導判定値以上の者の割合	78.8	71.8
高血糖者の割合	52.6	46.8
HbA1c 6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合	16.8	10.8
喫煙習慣者の割合	15.0	10.0
運動習慣がある者の割合	59.2	61.9

5. 地域包括ケア等に係る取り組み

令和元年度改正の国民健康保険法や介護保険法等により、市町村において地域包括ケアの推進、保健事業と介護予防事業の一体的実施の推進が求められています。

国保主管課では、特定健診結果やKDBデータなどの医療情報等を活用し、被保険者や地域の健康課題を把握することにより、地域包括ケアシステム事業関係課、関係機関と連携し、地域包括ケアにかかる多職種連携事業やフレイル予防を目的とした通いの場等へ事業参画することで、地域包括ケア及び一体的事業への取り組みを推進します。